

◎親睦活動委員会 南木 哲雄 委員長

ニコニコBOX投入報告

中野 会長……一年間お世話になります。どうぞよろしく。
 遠藤 幹事…… ” ”
 西村 会員……新入会員です。よろしくお願ひします。
 市川会員・伊藤会員・新 会員・加藤会員・佐々木(公)会員・南木会員・
 大和会員・濱 会員……今年もよろしく
 山下 会員……広報委員長ですので今年もよろしく。
 森(秀) 会員……昨年度も出席100%で終わることが出来ました。本年も
 よろしく。又、中野会長・遠藤幹事の船出を祝って。
 斎藤 会員……新入会員よろしく。
 増山 会員……誕生日です。
 小笠原会員……会長・幹事、一年間ごくろうさまです。
 成澤会員・澤 会員・藤枝会員・中川会員・藤野会員・大野会員・石橋
 会員・薮下会員・小池会員・松見会員
 ……会長・幹事、一年間ごくろうさまです。
 椎谷会員・戸栗会員・村井会員・西尾会員・吉野会員・山本会員・小林
 会員・阿相会員・山崎会員……年度始めです。よろしく。
 清水 会員……会報委員長です。
 東田 会員……年度始めです。会長・幹事ごくろうさまです。
 松橋会員・加藤会員・石川会員・青田会員・田守会員
 ……会長・幹事ごくろうさまです。

◎出席報告

会 員 数	67名	出 席 率	函 館 北	6月28日	89.23%
出 席	46名		函 館 東	6月27日	96.70%
欠 席	21名		函 館	6月22日	91.02%
他クラブ出席	12名		函館五稜郭	6月23日	100.00%
出席合計	58名		函館亀田	6月26日	94.12%
除 外 者	2名				

次回・7月19日
 プログラム

他クラブ 会長・幹事 表敬訪問



The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

函館北ロータリークラブ会報

ハーバード G.ブラウン 国際ロータリー会長テーマ

真心の行動 Act with Integrity
 慈愛の奉仕 Serve with Love
 平和に挺身 Work for Peace

中野 亮会長テーマ ○



第2510地区第11分区 山中 謙治 分区代理 (江差R.C.)

《第1545回例会》 第3号 7月19日(水)

本日のプログラム

「市内各クラブから表敬訪問」

★会 長 中野 亮 ★幹 事 遠藤尚孝

例会場：函館国際ホテル 〒040 函館市大手町5-10 TEL 23-5151
 例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 事務所：函館市大手町5-10 二子ビル3階 23-3870

1995～1996 <第1544回例会> 第2号

7月12日の記録

- ◎司会 中野 亮 会長 ◎斉 唱 我らの生業
- ◎ビジター 七飯R.C. 川端正二君、函館R.C. 神田勝美君・半田幸一郎君・元広輝重君・渡部明男君、函館東R.C. 丸橋清秀君・井上 孜君、函館五稜郭R.C. 名取晃一君・中原哲信君・高松雅彦君・能戸 彰君、函館亀田R.C. 渡辺清志君
- ◎ゲスト 第2510地区カバナー 西條 正博氏
第2510地区第11分区代理 山中 謙治氏

◎会長報告 中野 亮 会長

- 本日はガバナーの公式訪問を受け、10時30分から第1回アッセンブリーを開催しご指導をいただき、大変有難うございました。
- 第1回の理事会で昨年退会されました高杉会員を名誉会員に推挙致しまして先般本人の承諾を得ましたのでご報告申し上げます。これで名誉会員は、駒井さん、平野さん、高杉さんの3名となりました。
- 先程ガバナーから財団の話が随分ございましたが、今回マルチプル・ポール・ハリスフェロー第2回目の称号バッヂが川村昭夫会員に届いております。これは3回目ということでございます。ご存知のとおりマルチプル・ポール・ハリスフェローは5回目まで寄付が出来るという制度でございまして、トータルして6,000ドルまでOKということであり、今日川村会員はマルチプル・ポール・ハリスフェロー2回目ということで3,000ドルを寄付されたということです。西條ガバナーの方からバッヂを授与いただきたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

◎幹事報告 遠藤 尚孝 幹事

- 新入会員の所属委員会が決まりました。西村会員は親睦委員会に、中田会員・増田会員は会報委員会でございます。よろしくお願い申し上げます。
- 「ロータリーの友」の英語版のお買上げの依頼が参っております。年2回1,000円ということですので英語を勉強されたい方はぜひお買上げ下さい。

- 合同会員名簿が出来て参りました。お手元に配布してございます。一部は無料でございますが、それ以上ご利用の方はお買上げということで、2,000円ということでございます。
- 他クラブ情報ですが、7月20日(木)函館R.C. 移動例会、7月21日(金)函館五稜郭R.C. 夜間例会に変更でございます。
- 例会終了後ガバナーを囲みまして記念撮影を行いますので写真場の方へ集合して下さい。

◎各委員長就任あいさつ

・会員選考委員会 戸栗 力 委員長

委員会の中で一番暇ではないかということで引き受けましたが、委員会の任務は推せんされました会員につきまして充分にその適格性を審査して委員会の決定を理事会にご報告申し上げるということでございまして、先程アッセンブリーで聞きましたら、会員推せんの会員増強委員長さんが強力な三沢軍団でありますので案外忙しいのではないかと覚悟をし楽しみにしております。よろしくお願い致します。

・SAA 森 秀樹 委員長

SAAの任務については皆さんご存知のとおりですが、一生懸命やらせて頂きますのでどうぞお引き回し頂きたいと思っております。同時に副SAAは青田君と増山君ですのでよろしくお願い申し上げます。

・ローターアクト委員会 齋藤 紀一 委員長

来週か、さ来週あたりにローターアクトクラブの会長がご挨拶に来ると思いますが、本年度も会員が少ないので会員増強を目指してやっていきたいと思っておりますので協力の程お願い致します。

◎親睦活動委員会 新谷 順次 副委員長

ニコニコBOX投入報告

西條ガバナー…公式訪問でおじゃましました。

山中分区代理… ”

中野 会長……西條ガバナー公式訪問を記念して。

遠藤 幹事…… ”

森(秀) 会員…… ”

- 小笠原会員……西條ガバナー公式訪問を記念して。
 戸栗 会員…… ”
 濱 会員…… ”
 増田 会員……新入会員です、よろしく。初めてガバナーの公式訪問を受けました記念として。
 石川 会員……西條ガバナー公式訪問を記念して。
 佐々木会員…… ”
 中川 会員…… ”
 藪下 会員…… ”
 阿相 会員…… ”
 金子 会員…… ”
 北村 会員…… ”
 吉野 会員…… ”
 東田 会員…… ”
 飯田 会員…… ”
 大野 会員…… ”
 市川 会員…… ”
 新 会員…… ”
 澤 会員…… ”
 久保 会員…… ”
 大村 会員…… ”

◎分区代理挨拶 山中 謙治 氏

当クラブには、クラブ発足時にお招き頂き参りまして以来でございます。ガバナーの足でまといになっておりますが、あと2～3日間ガバナーの公式訪問に分区代理というよりも、新入会員のようなレベルの私でございますので、ロータリーの単語、言葉使い等々勉強させて頂いておるようなことでもあります。決して分区代理のような身分ではございませんが、なんとかこの一年江差クラブはもちろんのこと表現は悪いですが、ローカルクラブにもどうか当クラブの会長はじめ皆様のご支援、ご指導を賜りたくこの席を借りてお願い申し上げます。本日はどうも有難うございました。

◎西條ガバナーの紹介 中野 亮 会長

西條ガバナーのご経歴を紹介いたします。出身地は釧路市で大正12年2月1日お生まれでございます。所属は札幌ロータリークラブで、お仕事は株式会社道水の常勤監査役でございます。ご趣味は読書と旅行ということでございます。

次にロータリー歴をご紹介申し上げます。1968年4月札幌ロータリークラブに入会、その2年後は1970年7月にクラブ幹事を経験、1987年7月札幌ロータリークラブ会長を歴任されています。その前1976年7月にはR I 第251地区幹事をなさっております。1980年以降ロータリーには大変ご活躍ございまして文献事務所、ロータリー財団、ポリオプラス、社会奉仕各委員長歴任、第4分区代理、ロータリーの友地区委員等、大変貢献されております。マルチプル・ポール・ハリスフェロー、ベニファクター、メモリアルコンピュータ、米山功労者と沢山ロータリーに貢献されております。

◎ガバナー講話 西條 正博 ガバナー

ただ今会長さんから大変懇篤なる紹介を頂戴しまして恐縮いたしております。この7月1日からガバナーという大変重責に就任したわけでございますが、どうか皆様におかれましては、私何とか微力ながらこの役目を全うしたいと思っておりますので、ひとつ何分のご指導をお願い申し上げます。



ガバナー公式訪問ということで当然のことながら国際ロータリーの今年度のテーマ、そしてブラウン新国際ロータリー会長のメッセージについてここで詳しく解説するのが本当かと思っておりますけれども、このことについては会長エレクト研修セミナー、地区協議会等で詳しく申し上げましたし、また活動計画書その他でふれておるところでございますので、この点については簡単にふれさせていただきまして、その後私の所感を申し上げてご挨拶にさせていただきたいと思っておりますのでご了解の程お願い申し上げます。

今年度の国際ロータリーのテーマは「真心の行動」「慈愛の奉仕」「平和に挺身」ということで3つ並んでおるわけでございますが、最初の「真心

の行動」と申しますのは四つのテストは、正直・公平・真心をはかる黄金律であり、ロータリーの会員数を増強することが、正直・誠実・奉仕・真心の場であるロータリーを強化できる。だから会員増強を最優先事項とするということをごさいます、最初の真心の行動は会員増強ということを最優先事項とするということの解説でございます。次の「慈愛の奉仕」は20世紀の終わりまでにポリオを根絶することが私達の目標である。

会員の力を合わせて最後の勝利を目指し、慈愛の奉仕を続けようと呼びかけていて、20世紀の終わりまでにポリオを撲滅して2005年がロータリーの創立100周年に当たります。この創立100周年を機会にこの地球上からポリオがなくなったという勝利宣言をしたいというのでございます。それでは私共は現実にこの慈愛の奉仕ということポリオの撲滅に結びつけておるがいかに動けば良いかという疑問が生じるわけでございますけれど、私共はすでに5年間かけてポリオプラスキャンペーンをやりまして、目標額を達成して寄付行為は終わっておるわけですので、今ここにきてポリオについて何をすべきかということになるわけですが、私共が貯金しましたものは手元にまだ充分ございますので、今後5年間かけてポリオワクチンを購入しまして、それを投与してこの地球上からポリオを無くすという運動をたゆまなく続けていくということです。この行動を見守ってほしいということであり、ここでまた、貯金運動をするということではないようであります。ポリオプラスという言葉を使いますが、ポリオの方はやりますがプラスの方は一切行動しておりません。プラスとは結核、破傷風、ジフテリアなどそういう病気のことですが、私共の貯金は全てポリオワクチン一本にしぼっておるわけです。最後に「平和に挺身」ですが、どうして「Work for Peace」のワークが挺身という言葉になったかということにつきましては、私共は解せない点もあるわけですが、私共ガバナー教育を受けに2月にアメリカへ行ってまいりましたが、この時に発表されまして、私共戦中派は思わず顔を見合わせまして、挺身という言葉はまだ生きていのかと驚いたわけでありまして。私共はすぐ挺身と聞きますと女子挺身隊というような非常に暗い思いが浮かび上がってくるわけでございます。平和に挺身というのはブラウン会長の言いたいことは、現在、特にアメリカで顕著なようでありまして家庭の崩壊ということが非常に進んでいるわけでございます、日本でも成田離婚といまして簡単に離婚する傾向に

なっているという話も耳にしたりするわけでありまして、家庭が平和でなければ国は平和にならない。国が平和にならないければ世界は平和でありえないということで家庭を平和にしなければならぬ。それにはまず自分の気持ちを和らげて平和な気持ちを持たなければ家庭の平和は保たれないということをブラウン会長は訴えておるのでございます。私は翻訳を云々するような柄ではございませぬけれども、ちょっとブラウンさんの言いたいことと平和に挺身という訳との間に若干食い違いがあるのではないかという気がしないでもございませぬ。とにかく家庭の平和ということをお訴えているのが本心のようにございませぬ。

本日申し上げたいことは職業奉仕の問題でございまして、ロータリーといえば奉仕、奉仕といえば職業奉仕ということでロータリーの職業奉仕というのはロータリーの全看板であるといわれております。私共もそのように了解しておるわけでございますが、しかしながらこの職業奉仕というのはまことにとりとめのないことでさっぱり要領を得ない。もうすこしなんとか理解の出来るような易しい解説の仕方がないものかとしばしば耳にするわけでございます。そういうことに対しましては、私は国際ロータリーで出している「奉仕こそわが務め」という薄い冊子がございませぬ、これも翻訳がまことに悪訳であるという説がありまして、余り勧められないとおっしゃる方がおりますが、しかし内容は非常に分かり易くてそれを読んでみますと、奉仕こそわが務め、これが職業奉仕なんだなあということが分かるようになっておりますのでこれをお勧めしたいのですが、もう大分古い本になりましたのでせいぜいロータリー文庫に頼んでコピーをもらって読むより方法がない状態になっておりますので、お勧めしたくもお勧め出来ない様な状態にあります。そこで、今日は拾ってきた職業奉仕の事例を2～3読み上げまして紹介したいと思っております。それで職業奉仕というものを見直して頂けないものかと思う次第でございませぬ。

最初の事例は、「小さな親切」運動の機関誌「小さな親切」の4月号に掲載された対談から抜粋したものです。語り手はヤマト運輸㈱の小倉昌男会長です。

家庭から家庭という輸送マーケットに転身し、宅急便を始めたのが昭和51年でした。まだ誰もやっておられなかった宅急便を家庭の主婦の方にかかりやすいサービスとして、翌日配達を打ち出したのです。

このサービスの理念は、サービスを提供する側の論理で考えていては、お客さまの要望に応えていけないということです。お客さまが配達して欲しいときに届ける。それが夜間や早朝であってもどう応えられるか、そういう体制をつくるのがサービスだと考えます。こうして掘り起こしてきた結果、年間5億個を超える数を扱うまでになりました。

おかげさまで会社は、経営・業績とも安定してまいりましたので、社会的な存在として企業が属している地域にお役に立つことができるかを考えてみました。特に理由はなかったのですが、かねてから障害をお持ちの方は大変だろうなと思い、皆さんが社会生活や社会活動に参加されることをお手伝いすることができれば喜んでいただけるのではないかと考えました。多くの障害をお持ちの方は、自らの責任ではないでしょう。社会がバックアップして、人間として自立し、生活していく体制づくりのためにお手伝いしようということで財団を創立しました。

最近“ノーマライゼーション”という言葉を聞きます。これはデンマークで提唱された運動で、高齢者も若者も障害者も、そうでないものも、すべて人間として普通(ノーマル)の生活を送るため、共に暮らし、共に生きようという意味ですが、日本でもこの意識を進めていくべきだと思います。

昨年、初めて障害者テニス大会に参加してびっくりしました。大会はボランティアによって運営されていて、皆、明るいですよ。

財団ができてから聞いてみると、ボランティアは結構いました。先程の障害者テニス大会も社員の招待でした。

5万人の社員が、様々な形で人手の足りないところをご協力できたらいいなあと思っています。夢ですがね。それぞれの地域で、社会に貢献できることは素晴らしいことです。職場の状況や環境によっても左右されますが、素晴らしい人間関係が成立するということは、いつも相手の立場にたって行動することができるということです。心のこもったサービスを心掛けて、全員が気持ちよく楽しく行動しよう、と話しています。

次は、小樽商科大学の同窓会報「緑丘」第77号に掲載されていた“ホロニガ人生”という文章に引用されていた「経営理念」と行動規範です。

経営理念

わが社は、事業を通して国の内外を問わず、すべての人びとの健康で豊かな生活文化の向上に役立ち、社会に貢献し、社会の信頼を得て発展する

企業を目指す。

(1)「消費者志向」

わが社は消費者の心をわが心として、新しい時代の生活感覚に適した商品づくりに努め、消費者のニーズと期待に応える。

(2)「品質志向」

わが社は消費者の品質評価を謙虚に受け止めて、常に品質の向上と技術の研鑽に努め、業界最高の商品を供給する。

(3)「人間尊重」

わが社は、事業は人なりの信念のもとに、人間性を尊重し、人材の育成と公正な人事を行い、全員がその持てる力を十二分に発揮できる、自由で闊達な社風づくりに努める。

(4)「労使協調」

わが社は、相互理解と信頼に基づく労使関係の維持強化を図り、相携えて企業の発展と福祉の向上に努める。

(5)「共存共栄」

わが社は、共存共栄の精神をもって、わが社のすべての取引先および関係会社との間に、相互信頼を基盤とした強靱な協力関係を築くと共に、これら企業の中核体としての責任と使命を果たす。

(6)「社会的責任」

わが社は、経営基盤の安定と拡大を通して、株主及び地域社会に報いると共に、事業活動に当たっては経営上の倫理を重んじ社会の規範に誠実に従う。

行動規範(私たちの行動)

(1)「需要開発」

私たちは消費者ニーズの把握に努め、進んで市場や商品の開発に参加する。

(2)「自己研鑽」

私たちは優れた企業人、社会人として成長するよう自己研鑽に励む。

(3)「取引先との信頼」

私たちは取引先との人間関係を大切にすると共にそのニーズに迅速に対応し、信頼を勝ち得る。

次にご紹介申し上げるのは、偶然のことですが今年の5月15日(月)に札幌南ロータリークラブにお邪魔した時、サハリンから来ました女性の旅行社の社長をお連れしてご紹介を申し上げたわけですが、何故かと申しますとこの地区内でサハリンに是非ロータリークラブを作りたいという熱心な方がいらっしやいまして、その方の個人的なご招待で女性社長を呼ばれたわけですし、そこでぜひ私にどこかのロータリークラブへ連れて行って、どういうことをやっているかということを知って、サハリンに帰ったらぜひロータリークラブを作る中心人物になって貰いたいということです。それで私は女性社長を連れて札幌南ロータリークラブの例会へ行ったわけですが、偶然なことですが、アムール・トレーディングの代表理事をやっております中川秀夫さんという方が「ロシアとの取引について」という題で当日卓話をやったわけでありまして、たまたま私はサハリンから人を連れていったということで顔を見合わせてほんとうに偶然だと感激しました。中川さんのお話によりますと、500人ばかりの従業員を使ってハバロフスクで大きく貿易をやっているのだそうですが、現在のロシアはちょうど日本の終戦直後を上回る混乱ぶりだそうですが、しかしながらロシアは地下資源は無尽蔵にありアメリカ・韓国・中国等からどんどん企業が進出し色々なことをやっている。それに反して日本はせっかく合併会社を作ったりしたにもかかわらず、どんどん撤退していている。そこでロシアの人間は非常に失望している。彼らの求めているのは日本の技術である。これだけ日本の技術を求めているのに逆に撤退していく手はないだろう。なんとか考え直してロシアに手を貸してやってもらいたいものだと言っていました。最後になって言ったことが非常に気にかかったわけですが、「しかしながら我々日本の企業がロシアに進出していく場合には、まず彼らが希望する、彼らの生活水準を高める、彼らが豊かになるということ、そのために力を貸してやるだという気持ちで行ってもらわなければ必ず失敗して帰ってまいりますよ。彼らが求めているのは自分自身が良くなりたいたいということなのであって、日本人に儲けさせてやるから来いというのではないのだから、それを忘れてはいけませんぞ。彼らの生活水準を高めよう、彼らを豊かにしてやろうと一生懸命になってやったならば、彼らは必ず日本に感謝します。それが利益という形で戻って来るに違いない。だから彼らのためにやるんだという気持ちでぜひロシアに

来てもらいたい。」とくり返して強調していたのは誠に印象的でした。わがロータリーにも「最も良く奉仕する者は最も多く報いられる」という標語があるわけですが、これが職業奉仕の精神になっていると思うのでございます。

最後に「奉仕こそわがつとめ」から短い事例を一つだけご紹介して終わりにいたします。

“それは真実であるか？”(P58～P59)という設問のなかに出てくる事例です。

アイオワ州のある百貨店の広告係主任が病気で、その新任の副主任が懸命に事務の代行に当たっていました。ぶっきらぼうで有名なその店の店主が、その事務所には行って来ました。「ねえ、君」と、彼は話しかけました。「レインコート売場に、何か興味をひき起こすようなことをやってくれたまえ。実をいうと、なんとか処分しなければならないレインコートがたくさんあるんだ。それは店晒しになったもので、中にはいたんだ物もあるので、捨て値で売ろうというのだ。そこまですずお客さんにそれを買わせるように仕向けなければならないのだ。その中には良いものもまざっている。しかし、もし売ることができなければ、いっそ河に流してしまったほうがましなくらいだ。」

この若い店員は、万事心得ています。と請け合いました。その翌朝、店主が店の広告を読もうと朝刊を開いたとたん、大あらしが起こりました。なんと彼の言葉がそのまま太字で、でかでかに出ているではありませんか。

「実をいうと、われわれは処分しなければならないレインコートをたくさん手持ちしています。それは店晒し品で、中にいたんだ物もあります。われわれはそれを捨て値で提供します。」

店主はこぶしを固めて卓をたたいたので、皿は踊りコーヒーはこぼれました。彼は続けて読みました。「その中には良いものもまざっていますが、もし売れなければ河に流してしまう外ないでしょう。」

なおも憤慨に身をふるわせながら、店主は店に着くなり広告係の事務所に突進しました。その途中行き合った彼の経営相棒は彼に尋ねました。「あなたはレインコートのことを聞きましたか？」「聞いたかって？これから行ってあの馬鹿野郎をたたき出してくれるところだ。」「それではあな

たはまだ何も聞いていないのですな。」と相棒は言いました。「店では混雑を整理しきれなかったほどでした。広告したレインコートは、店を開いてから30分で全部売り切れました。あの広告が素晴らしかったのです。その絶対的な率直さがお客の気に入ったらしいのです。」

以上、いくつかの事例を紹介いたしました。ロータリーの職業奉仕というものはこのようにことを強調しているのだと私は受け止めている次第でございます。ご参考となればと思います。ご精聴有難うございました。

★第1回喜多会成績 平成7年7月13日

於：大沼レイクG.C. (敬称略)

	大沼	小沼	G	H	N	
優勝	加藤清郎	42	40	82	8	74
準優勝	山下宣秀	48	48	96	20	76
1位	吉田隆	39	52	91	14	77
2位	奈良真道	48	49	97	19	78
3位	伊藤康男	49	54	103	19	84

◎出席報告

会員数	67名	出席率	函館北	6月28日	89.23%
出席	46名		函館東	6月27日	96.70%
欠席	21名		函館	6月22日	91.02%
他クラブ出席	12名		函館五稜郭	6月23日	100.00%
出席合計	58名		函館亀田	6月26日	94.12%
除外者	2名				

次回・7月²⁶19日 「今年のビール事情」
 プログラム 函館ビヤホール社長 相澤光雄氏



The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

函館北ロータリークラブ会報

ハーバード G.ブラウン 国際ロータリー会長テーマ

真心の行動 Act with Integrity
 慈愛の奉仕 Serve with Love
 平和に挺身 Work for Peace

中野 亮会長テーマ ○



遠藤 尚孝 幹事

中野 亮 会長

《第1546回例会》 第4号 7月26日(水)

本日のプログラム

「今年のビール事情」

函館ビヤホール社長 相澤光雄氏

★会長 中野 亮 ★幹事 遠藤尚孝

例会場：函館国際ホテル 〒040 函館市大手町5-10 TEL 23-5151
 例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 事務所：函館市大手町5-10 二子ビル3階 23-3870